

# 事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0160/000000/00/01	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	病院運営事務事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	病院事業費		担当部課名	市民病院		
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	地域医療の充実					
根拠法規及び関連法規	公営企業法、医療法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	周辺地域住民を含めたすべての市民				
	誰(何)を対象として	周辺地域住民を含めたすべての市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院として健全経営を確保し、効率・継続的な病院運営により、地域住民に信頼される安全・安心で質の高い医療提供を行う。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	安全・安心で良質な医療を提供するために、病院機能の充実強化、常勤医師の確保等医療提供体制の整備をはじめ、サービスアップの推進など積極的な改革を行い経営の健全化、安定した経営基盤の確立を図る。					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	経常収支比率	%	87.1	85.8	90.7	91.4
	医業収支比率	%	75.9	70.7	72.9	82.9
	病床の有効活用	%	38.3	33.9	41.8	64.8
	一般会計繰入金	千円	68,874	64,668	140,681	79,484

## 3 投入資源

会計区分		病院事業会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	2.000	2.000	100.0	2.000	100.0	2.000	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	18,710,608	17,909,634	95.7	18,141,585	101.3	17,921,572	98.8	
	事業費	665,616,392	645,782,366	97.0	714,660,379	110.7	788,178,428	110.3	
	合計	684,327,000	663,692,000	97.0	732,801,964	110.4	806,100,000	110.0	税込み
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	68,874,000	63,986,000	92.9	140,681,000	219.9	79,484,000	56.5	
	一般財源	615,453,000	599,706,000	97.4	592,120,964	98.7	726,616,000	122.7	
	合計	684,327,000	663,692,000	97.0	732,801,964	110.4	806,100,000	110.0	

## 4 評価指標

### 【有効性】

指標名1	経常収支比率								
指標説明(式)	経常収益÷経常費用×100(税抜き)								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	類似病⑩
	実績	87.1	85.8	98.5	90.7	105.7			94.3
指標名2	医業収支比率								
指標説明(式)	医業収益÷医業費用×100(税抜き)								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	類似病⑩
	実績	75.9	70.7	93.1	72.9	103.1			85.2

【効率性】

指標名1		病床稼働率							
指標説明(式)		在院患者延数÷日数÷35床×100							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	実績	59.1	52.3	88.5	64.5	123.3	100.0	155.0	

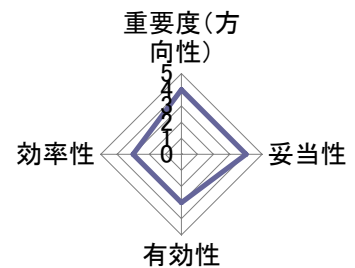
指標名2		1日平均外来患者数							
指標説明(式)		外来患者延数÷外来診療日数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	実績	98.7	86.8	87.9	79.8	91.9	80.0	100.3	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	「誰もが安心と信頼の中で利用できる身近な病院」として、地域医療を補完できる病院としての使命に努めた。	4	4
	市民ニーズ	3名の常勤医師が着任したが、一斉退職がある等診療体制の面で患者様に不安を与えた。また、病院長不在が続いている。		
有効性	成果目標(改善)達成度	本格的な外科手術の再開や専門外来の充実に努め、経常収支比率及び医業収支比率については前年度より伸びたが、目標には達しなかった。	3	3
	市民サービス	自治体病院は、安全・安心な医療の提供を一層求められる。ヒヤリハット等の検証・防止を確実にいき、医療の安全確保に努めた。		
効率性	執行体制の効率性	病床稼働率の増及び外来患者数の減に伴う病棟及び外来看護師の適正配置に努めた。	3	3
	手段の最適性	外来診療の待ち時間解消等のため予約診療の検討を行った。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	期待する目標	赤字解消。一般会計からの繰入依存の解消。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	公共性	良質な医療をどのように効率的・継続的に提供していくのか、地域医療ニーズを的確に把握し、診療体制の充実に努めるなど経営の基盤強化を行う。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

1. 急性期病院としての診療体制の確立	①専門外来診療の促進	②小児科時間外診療の促進
2. 健診機能の充実	①定期健康診断、人間ドックの確保	②特定健康診査の整備

検討の有無	—
総合指標	20